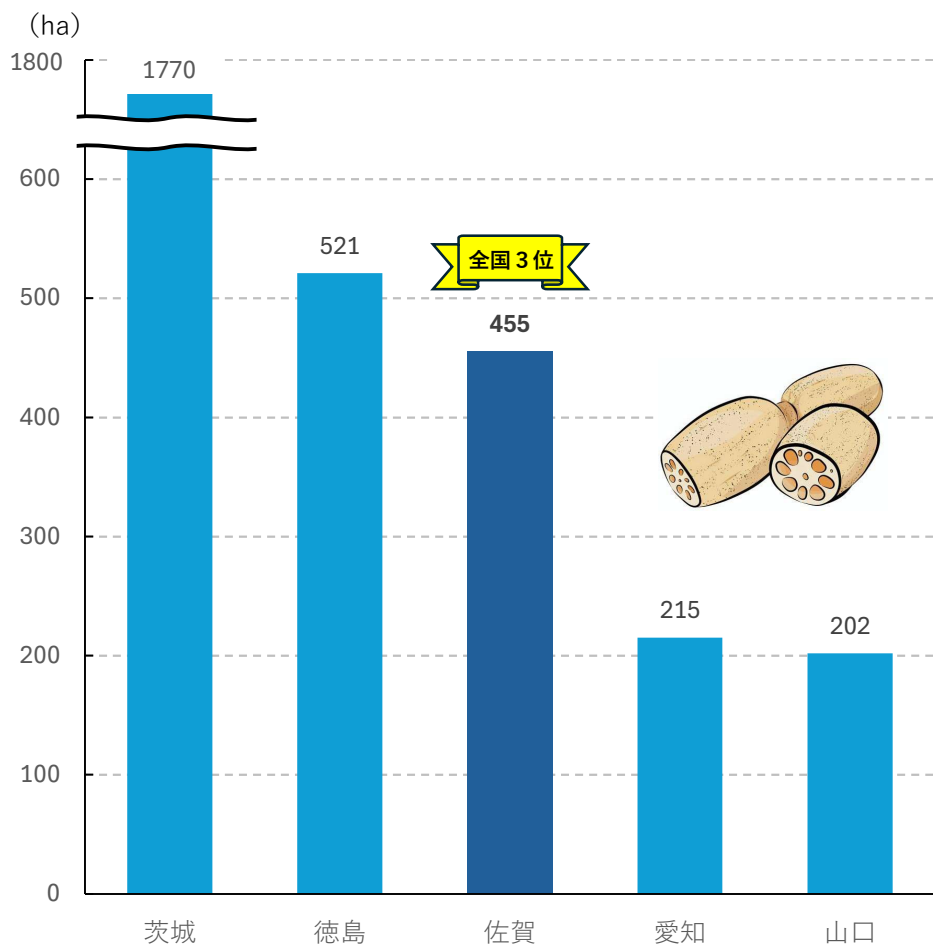




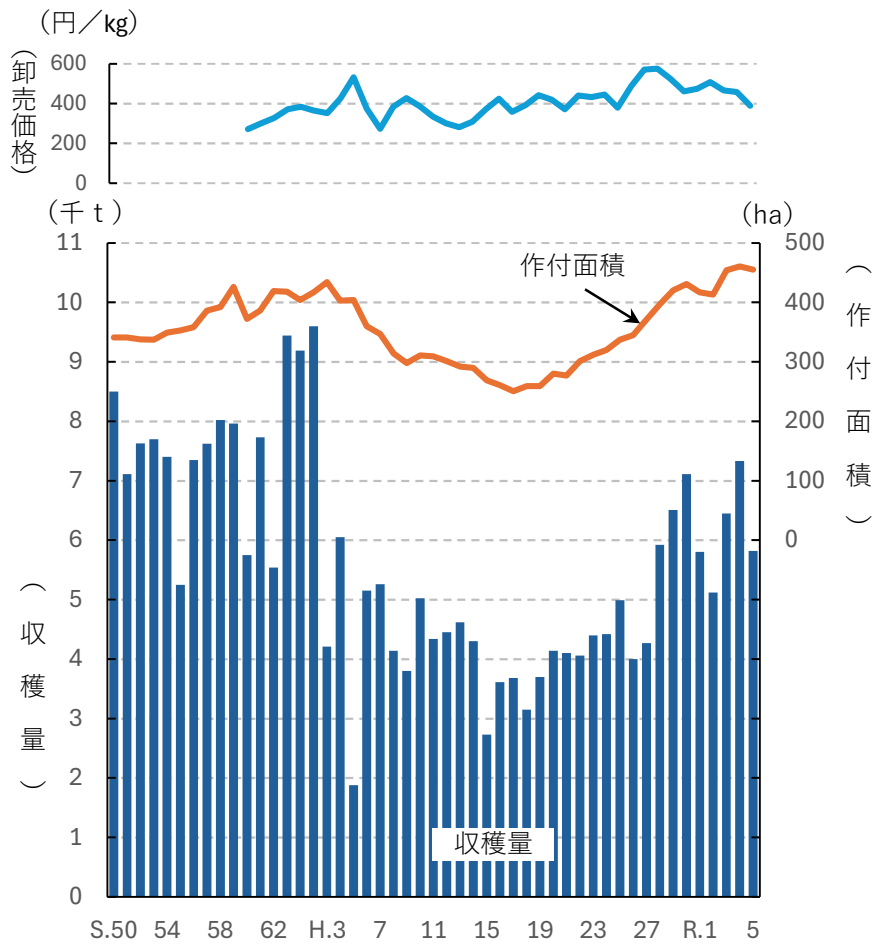
佐賀県のれんこん

れんこん作付面積の全国上位5県（令和5年産）



資料：農林水産省統計部『生産農業所得統計』

れんこんの収穫量、作付面積、価格の推移



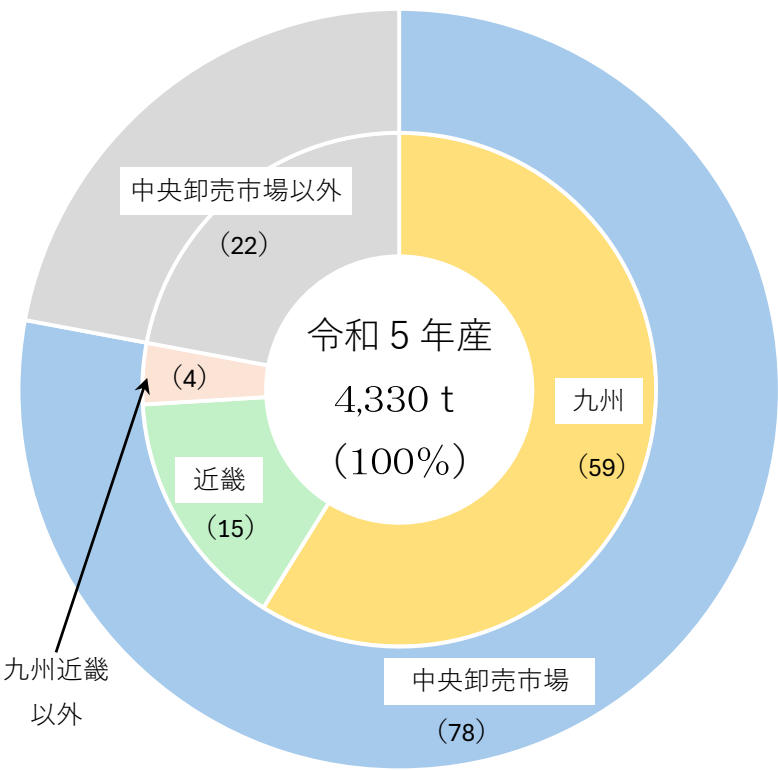
資料：農林水産省統計部「作物統計調査」「青果物卸売市場調査」

佐賀県の令和5年産れんこん作付面積は455haで、全国3位となっています。平成17年以降は価格の上昇傾向を反映して作付面積が増加しています。県内では白石町での作付けが多く、有明干拓における重粘土質の土壌でカルシウムや多くのミネラルを含むことから、良質なれんこんができると言われてい

ます。
出荷量のうち約8割が中央卸売市場の取扱いとなり、そのうち約6割は九州の市場に出荷されます。6月は端境期となるものの、ほぼ周年で出荷されています。

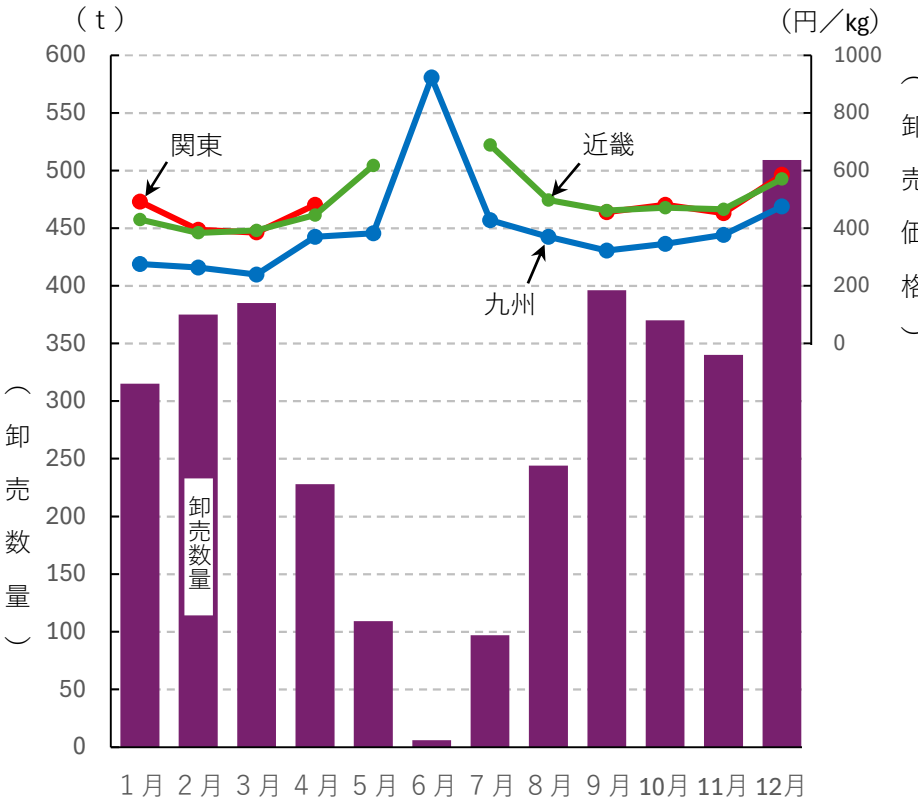


れんこんの出荷量割合



資料：農林水産省統計部「青果物卸売市場調査」

中央卸売市場における佐賀県産れんこん（令和5年産）



注：中央卸売市場とは、卸売市場法に基づき農林水産大臣の認定を受けて開設している市場で、R5.12月末で50市場が開設されている。

資料：農林水産省統計部「青果物卸売市場調査」

九州農政局 佐賀県拠点作成